

## 訪問看護の医療的ケア (主治医の訪問看護指示書)

### ・在宅酸素療法

- ・自宅に酸素濃縮器(空気から酸素を作る機械)を酸素業者が搬入
- ・酸素の取り扱いについて説明(業者)
- ・酸素療法指示は在宅医、管理は訪問看護師
- ・呼吸困難時は、酸素の増量や薬剤(麻薬)を使用し苦痛の緩和を行う

### ・その他の医療的ケア

- ・疼痛や苦痛の緩和(麻薬・鎮痛剤:服薬⇒座薬⇒パッチ⇒持続皮下注入)
- ・点滴などの実施(身体の状態による。点滴も悪影響を与えることがある)
- ・浣腸や吸引、在宅酸素の管理
- ・床ずれなど予防や処置
- ・在宅リハビリテーション(マッサージや楽な体位の方法指導)

## 訪問看護24時間および緊急時の連絡体制

緊急時の連絡

宗像医師会  
原状を家医に対応する

1. 連絡は、携帯電話での番号に電話を掛けて当番は、当ステーションについて詳しい状況が判明するまで対応します。

2. 緊急時は主治医への連絡は、利用者が、ご自身で行ってください。

3. あんしんコールは、ご自身の携帯電話に保存してください。

4. 介護保険のサービスを利用する場合は、介護保険のサービス利用の手続きをお願いします。

### あんしんコール

|     |     |   |                                  |                             |
|-----|-----|---|----------------------------------|-----------------------------|
| ご本人 | お名前 | 様 | 生年月日                             | <small>欄外・介護・福祉・その他</small> |
|     | 電話  |   | 年 月 日                            |                             |
|     | 住所  |   | 〒 ( ) 市 ( ) 区 ( ) 丁目 ( ) 番 ( ) 号 |                             |
|     | 連絡先 |   | (ご本人との連絡)                        |                             |
|     | お名前 |   |                                  |                             |
|     | 電話  |   | (携帯番号)                           |                             |
|     | 住所  |   |                                  |                             |

★緊急の場合・看護の相談

|   |    |   |
|---|----|---|
| 宗像医師会<br>訪問看護ステーション   | 電話 | 昼間・夜間 0940-36-1200<br>休日・夜間 090-8666-2076 |
| <small>※ 0940-36-1200は、本番対応の電話番号です。24時間携帯当番・随時対応で輪番制になっています。訪問は随時訪問看護・携帯当番・高動番で対応します。</small> |    |   |
| ★ケアプラン<br>宗像医師会<br>ケアプラン<br>サービス  | 電話 | 昼間 0940-34-8076<br>夜間 090-6892-5056       |

かかりつけ医

|    |      |         |
|----|------|---------|
| 氏名 | 電話番号 | 先生(主治医) |
|    |      |         |

119

どんな時に電話するの？

- ◆ 自宅で具合が悪くなったとき
  - ・痛みが強くて苦しむ・眠れない
  - ・息が苦しい
  - ・意識がもうろうとしている
  - ・熱がある
  - ・吐いている
  - ・便が出ない・尿が出ないなど

の体の症状

⇒ 訪問看護ステーションか在宅医へ連絡  
⇒ 訪問看護で対応できる場合と医師の診察が必要な場合があるが多くはいずれかで対応可能  
⇒ 入院が必要な場合でも在宅医と訪問看護が病院へ情報提供するほうが円滑に受診でき入院がスムーズ

◆ ご家族が疲れたり、体調が悪い時にもご相談ください

夜間・休日は携帯当番は自宅待機

## 臨終へ向かう身体の変化(リーフレット)

### これからのご家族へお伝えしたいこと

不治の病と宣告されたときから、ご家族にとってはとてもつらい日々が続いておられる事と思います。病気というものは未知の世界で、ご家族にとっては難しい言葉が並べられ何が何だかわからないという事もあると思います。

そして日々患者様の自覚は変化していきます。今日は調子よいが明日はどうなるかわからない・・・という状況が多々あります。少しでもご家族の方が預かっている、介護にあたる事ができるように書かせていただきました。ここに記したことが、すべておこなうとは限りませんが、私たちの長年の経験、知識によるものです。

#### ※ 食べられなくなる

病気が進行してくるとお体が衰弱してこられ、体力も落ち、今まで普通に食べていたのに、食べ物をうけつづかなくなっていくます。口が乾いたり、のどごしのよい物を好まれます。(例えば・・・アイスクリーム・かき氷・糖類・フルーツなど) そのような物は無理に勧めず、患者様の好きなものを少量ずつ食べていただくのが良いです。

#### ※ 全身が冷たくなる

- 食べられなくなる
- 全身のだるさのために動けなくなる
- 会話がかみ合わない
- 意識が落ちてくる
- 呼吸の仕方が不安定になる
- 手足が冷たくなり顔つきが変わる

#### ※ のどとでゴロゴロという音が聞こえる

衰弱が進み、体力もないため喉などの分泌物を外に出す力が衰えます。そうすると、いつものどとでゴロゴロしている状態が続きます。患者様は苦痛を感じておられない事もあります。ひどくなるようであればご相談ください。

#### ※ 呼吸の仕方が不安定になる

お体が冷たくなると非常に呼吸が不安定になります。鼻や口で呼吸をしたり、呼吸回数も増えたりしてきます。時には微妙ですが、呼吸を休めることがあります。

- ご家族にできること
- ご家族にしかできないこと

※ 緩和できること  
お薬を投じて痛みを和らげたり、水分を補ったりして、少しでも取り切れない苦痛というものがあります。身の置き所のない状態と呼吸困難、それにもなる混乱があります。そのようなお薬を使わせていただいていた方が、患者様が苦痛を感じずにお過ごしになります。決して死を早める事ではありません。

※ ご家族にできる事  
手足が冷たい、唇の色が悪い・・・握める、手を握る、足を握る等呼吸が不規則になる・・・顔をなでる、胸を握るのどがゴロゴロする・・・のどを握る

※ ご家族にしかできない事  
思い出を語る  
これまでの感謝の言葉を述べる  
これからの生き方を伝える  
少ない言葉ですが、ご参考になれば幸いです。

ご家族の中に病気がおられ介護されるという事は、心身ともに多大な力を要します。何か困った事、相談したい事があれば、小さな事でも構いませんので何でもおっしゃってください。少しでもご家族のお力になればと思います。

宗像医師会訪問看護ステーション  
電話：0940-36-1200 (24時間対応)

## 家族支援(介護方法指導)

- ・家族支援(介護方法指導:洗面・食事介助・おむつ交換・口腔ケア・水分の与えかた・薬の飲ませ方・・・状態に応じた方法)
- ・家族指導(医療処置のお手伝い)
- ・死へ向かう体の変化とその時々での介護の方法をお教えします。
- ・緊急時の対応方法の説明と確認
- ・自宅ですべて介護できない時の入院先の確保
- ・介護で疲れていないか確認し、ご家族の健康状態にも配慮します
- ・ご家族・在宅医・ケアマネジャー・訪問看護師で困ったことが起きたり急な病状悪化時の説明や対応法など話し合いを持ちます
- ・精神的な支援(安らかな死を迎えられるように、自宅で最期まで可能かお聞きします)
- ・ご家族とお別れ後の体の処置とご家族の心のケア

## 訪問リハビリテーション(介護保険)

「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が自宅に訪問し、本人の体の動きや動作の維持・回復を図るだけでなく本人が持っている体の動きや動作を日常生活の中で活用できるよう指導する」

- ◆ 理学療法士
  - ・運動療法や物理療法を通して関節や筋肉などの動きの維持回復
- ◆ 作業療法士
  - ・日常生活行為や生活関連動作全般に練習やアドバイス
- ◆ 言語聴覚士
  - ・コミュニケーション、飲み込み、聞こえや言葉の練習やアドバイス

### 在宅緩和ケアでの役割

- ・自宅で同一体位による体の痛みに対しリラクゼーションの体位やマッサージを行う
- ・呼吸リハビリテーション(呼吸補助)
- ・自分史や聞き取りによる作業療法(家族へ残すもの)
- ・生きる楽しみを見つけて一緒に行く

## 訪問介護(介護保険)

- 「訪問ヘルパー」を派遣する事業所
- 介護保険で利用(ケアマネジャーが作成するプランに組み込まれる)
- 体に直接触れることや病状や命に関わる事には制約が多い(経験や事業所の運営方針)

|      |   |
|------|---|
| 身体面  | 起き上がりの介助、移動の介助、体位変換、入浴介助、身体清拭、洗髪、整髪、歯磨き、口腔ケア、ひげそり、爪切り(異常のない爪)、おむつ交換、など              |
| 生活面  | 日常的な調理、配膳、片づけ、食事介助、水分補給、ゴミだし、日常着の生活、本人が過ごす場所の整頓、掃除、買い物、受診介助(公共機関)など                 |
| 医療関連 | 顔色や様子を見る、血圧測定、体温測定、服薬確認、人工肛門便の破棄、専門的な判断や技術を要しない処置(軟膏を塗る、座薬を入れる、目薬、インシュリンのメモリの確認、など) |

- 訪問介護と在宅看取り
  - ・ヘルパーの援助で家族の負担が軽減
  - ・身体的介助のみでなくご家族の精神的な支援も実施
- ヘルパーが出来ること・出来ないこと
  - ・ヘルパーは専門職。内容は介護保険法で決められている

## 24時間付き添う介護

自宅で最期まで過ごしたい。家族に介護疲れがあるが、病院や施設には行きたくない・・・やりたくない。

- ◆ボランティア
- ◆付き添い家政婦(自費)
- ◆訪問介護事業所の夜間付き添いヘルパー(自費利用)

・詳細はケアマネジャーに相談  
・在宅終末期医療を理解している事業所・人を選択  
担当医師や訪問看護師の意見を聞きサービス担当者会議を開催

## 訪問入浴サービス(介護保険)

### <訪問入浴介護>

- ・ 介護保険の認定の受けている方
- ・ 寝たきりなどの理由で、入浴するのが困難な人に対し  
自宅に「組み立て式簡易浴槽」を持ち込み入浴の介助をするサービス
- ・ 看護師1名、介護員2名の3名でサービスを提供
- ・ 時間は準備から終了まで60分
- ・ 1回の自己負担 1250円(介護保険1割負担)
- ・ 集合住宅の場合は、簡易浴槽を持ち込み自宅の浴室のお湯をお借りします・

### <手順>

- ・ 利用者の自宅に訪問(駐車場の確認)
- ・ 看護師:健康チェック、入浴が可能か、入浴不可の場合は主治医へ問い合わせします。介護員:浴槽の準備、
- ・ ベッド(布団)で衣服を脱ぎ、3名で抱えて浴槽に運びます。  
洗髪をして浴槽で全身を洗い、最後にシャワーをして石鹸を洗い流します。
- ・ 3人で抱えてベッドに戻り衣服の着衣。・入浴後の健康チェック
- ・ 入浴後の医療処置や入浴中にシーツの交換なども可能

浴槽につかることでリラックス効果が得られ痛みが軽減したり夜間の睡眠も促します



## 特定福祉用具事業所(介護保険)

- 本人の状態によりレンタルできる。\* 以外は、要介護2以上が対象ですがターミナルは状態変化の大きい人や医師が必要と認めた人は、要支援1からでも利用可能。

### <貸与種目>

- 車いす・車いす付属品(クッション等)
- 特殊寝台(介護ベッド)・付属品(マット・テーブル等)
- 床ずれ防止用具・体位変換エアマット
- 手すり・歩行器・杖
- トイレフレーム
- 徘徊探知機(センサーマット)
- 移動用リフト

## 福祉用具の購入・住宅改修(介護保険)

- 入浴や排せつなど他者との共用が出来ない清潔用品などは、介護保険で購入できます

### <購入種目>

- 腰かけ便座
- 特殊尿器
- 入浴用いす
- 浴室用手すり
- 浴槽内イス
- 入浴台イス
- 浴室内すのこ
- 入浴用介助ベルト

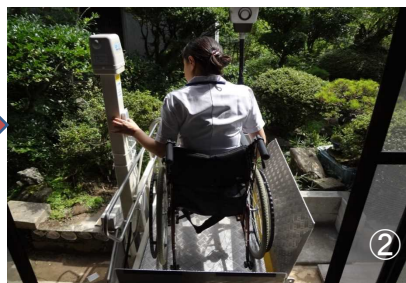
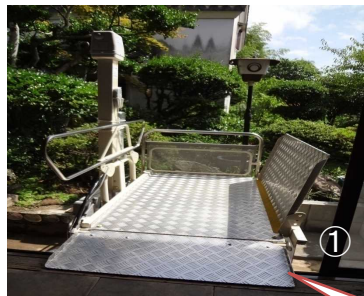
### <住宅改修>

工事前に申請が必要！

通常、申請の準備から工事終了まで2~3週間を要するためターミナルでは状態の悪化のため使用できない事が多い

## 段差解消リフト(福祉用具貸与)

2000円程度/月



- ①昇降機が縁側の高さまで上がった状態
- ②車いすで乗り込んでボタンを押す
- ③下まで下がった状態

## 住宅改修 (男子トイレをつぶし洋式トイレ設置)



トイレ枠設置  
(福祉用具貸与)  
300円/月

## 薬局(訪問薬剤師)介護保険又は医療保険(麻薬)

- 処方薬の説明、使い方の指導
- 副作用の確認、医師へ処方への提案
- 残薬を確認し、処方日数の変更や、追加、削除を医師に提案
- 服用状況を確認、問題があれば剤形(水剤や、口腔内崩壊錠)の変更や粉碎を行う

### 薬剤師介入のメリット...

- ◆夜間、休日の緊急時に対応
- ◆服薬管理方法を提案、実施
- ◆スムーズに的確な医療を受けられるようサポート
- ◆ご家族が本人と過ごせる時間が増える

## 訪問薬剤師

### ▶夜間、休日の訪問(24時間365日体制)

宗薬ネットに参加している薬局を宗像薬剤師会  
会営薬局がサポート

24時間365日対応が可能

### ▶無菌室による輸液、注射等の調整

会営薬局に設置、研修を受けた薬剤師は  
利用可能



PCAポンプ「アイフュー  
ザー・プラス」  
: 医師会4台購入(むー  
みんネット管理: 在宅医  
へ貸出)  
: センター薬局で準備

## 入院か？在宅看取りか？ 本人、家族の意向を大切に

### ▶ 自宅で具合が悪くなったら

- ⇒ 訪問看護ステーションや在宅医に連絡
- ⇒ ヘルパー・ボランティア訪問中に何か普段と様子が違う時は、訪問看護ステーションに連絡
- ⇒ 多くは、訪問看護師の訪問や在宅医の往診で対応可能
- ⇒ 在宅医療でもほぼ病院と同一のケアが可能。必ずしも入院対応ではない。
- ⇒ 主治医往診後診察、病状説明があり在宅看取りを選択
- ⇒ 退院する時に、緊急に入院できる病院を病院主治医や在宅医訪問看護師と決めておくこと安心…緩和ケア病棟面談
- ⇒ 入院する場合でも、在宅医から病院へ情報を提供しますので円滑に受診。落ち着いたらまた在宅へ帰れる事が大事。

## 在宅でどうしても療養できない状況になったら・・・ 緩和ケア病棟面談・緊急入院受け入れシステム

自宅での療養が困難な場合の受け入れ（がん以外でも）

- ・ 緊急入院をスムーズに
- ・ がんが進行した方は緩和ケアの面談

- ① がん拠点病院・在宅医（診療情報提供書）
- ② 訪問看護・ケアマネジャー（情報提供書）
  - ⇒ 事前に医師会病院システムに登録
  - ⇒ 登録カードを患者・家族に渡す
  - ⇒ 緊急受診時患者はカードを受付へ
  - ⇒ 医事課・当直医情報共有

患者・家族・在宅側  
・ 受ける病院側も  
**安心を担保**

| 登録患者数             | 入院  | 在宅看取り |
|-------------------|-----|-------|
| 44名               | 10名 | 34名   |
| (期間 H24.3~H26.11) |     |       |

カードと医療保険証を一緒にセット

| 訪問看護情報共有登録証                |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 管理NO                       |                      |
| 名前                         |                      |
| 生年月日                       | 明治・大正 年 月 日<br>昭和・平成 |
| 概要：[HIS]-[22.訪問看護情報共有]より印刷 |                      |
| ※カードケースは訪問看護へお返し下さい        |                      |



## まとめ

- 医療は病気を支え、介護は生活を支える
- 在宅での療養生活を継続するためには医療と介護が密接に連携を図ることが必要
- 宗像地区(宗像・福津)には24時間、必要な時にサポートできるような在宅医療・介護のネットワークが存在する

